真田山小学校避難所開設・運営訓練

国際医療救援部　国内救援課
清水　亮平

平成２５年３月３日（日）、天王寺区主催で行われました真田山小学校避難所開設・運営訓練に職員３名を派遣しました。

共助の大切さについて説明

本訓練は、災害時に地域住民の方が主体となって避難所を開設・運営することを訓練するもので、当院職員の役割は、一般の地域住民の中から事前に決められている医療班の方々に、診療所のレイアウト、患者の受付、簡単なトリアージ（重症度の選別）、応急手当の方法などを指導することでした。

災害時には医療機関は重症の患者さんの対応に追われてしまうため、ある程度のけがや病気であれば地域住民の自助や共助で対処をしていただく必要があります。そのため、専門　的な医療資材ではなく、市販の救急セットや身近にある物を使った応急手当の仕方をを中心に指導をし、実際に模擬の傷病者を受け入れる訓練の中でも医療班の方々に実践をしていただきました。

住民の医療班による応急手当訓練

住民の方々の熱心な姿を見て、地域の防災について心強く感じた一日でした。